

2023年4月1日～

百日せき含有ワクチンの

接種開始月齢が

生後2カ月に

変更されました

接種を1ヵ月早めることで、
リスクが高い生後6ヵ月未満の
乳児の罹患と重症化を
減少させることが期待されます。

予防接種のことで
「わからないこと」
「不安なこと」があれば、
医師・看護師に
ご相談ください。



2023年4月1日以降の スケジュール

	生後 2ヵ月	生後 3ヵ月	生後 4ヵ月	生後 5ヵ月	生後 6ヵ月	生後 7～8ヵ月
百日せき含有ワクチン ・4種混合(DPT-IPV) ・3種混合(DPT) ・不活化ポリオ(IPV)	1回目	2回目	3回目	2023年4月より		
その他の定期接種(参考)						
ヒブ	1回目	2回目	3回目			
小児用肺炎球菌	1回目	2回目	3回目			
B型肝炎	1回目	2回目				3回目

※4回目は規定された間隔をおいて接種

参考: 第41回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会【資料2】沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(DTaP)を含む混合ワクチン等の接種スケジュールの前倒しについて

生後6ヵ月未満の乳児の罹患と重症化を 減少させることが期待されます

例えば、生後2ヵ月の患者数が現在の生後3ヵ月の患者数に、
生後3ヵ月の患者数が生後4ヵ月の患者数に…と順に減少すれば、
減少する患者数の合計は100人程度(下図★部分)に相当します。

